

今月はICOの2月レポートと共に、全米コーヒー協会、コロンビアコーヒー生産者連合、カナダコーヒー協会ホームページからトピックスをお送りします。



コーヒー価格は輸出量が増え下落した

2018年2月のICO複合指標価格月間平均値は1.2%下がり米セント114.19/LB だった。2018年2月、3アラビカグループ指標価格は全て下がったが、ロブスタグループ月間平均価格は僅かではあるが0.7%上げ米セント89.24/LB となった。2018年1月、ロブスタコーヒー輸出量は48.2%増え4.48百万袋となり、2017/18年度最初の4か月間の輸出量は6.4%増の14.87百万袋だった。これは主にベトナムのコーヒー輸出量が1月増えたことによるもので、同国輸出数量は推定3.29百万袋となり、前年対比ほぼ倍増した。2017/18年度最初の4か月間のアザーマイルドとブラジルナチュラルグループの輸出量は、夫々9.3%増の7.62百万袋、2.2%増の13.31百万袋となった。アザーマイルドグループの輸出増加は主にホンジュラスの輸出増が原因であり、ブラジルナチュラルの輸出増はエチオピアの輸出増が原因である。これとは対照的に同期間のコロンビアマイルドグループの輸出量は10.9%減の4.94百万袋だったが、これはコロンビアが多雨の為コーヒー生産量が減ったことが主因である。

図 1: ICO 日次複合指標価格

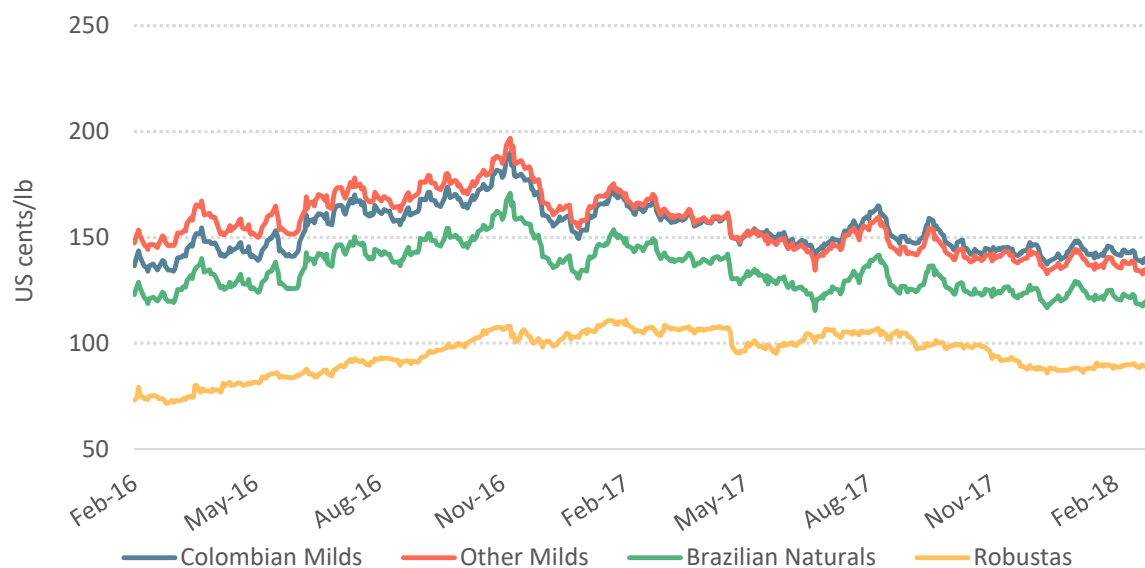


© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

ICO複合指標価格月間平均値は3か月連続下げた後1月に少し値を戻したが、2月の平均値は1.2%下がり米セント114.19/LBだった。日次複合指標価格は、月前半は堅調で2月14日には高

値となる米セント116.07/LBを付けた。その後2月21日には安値となる米セント112.16/LBまで下がったが、月末まで113セントを割ることはなかった。

図 2: ICO 日次グループ指標価格



© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

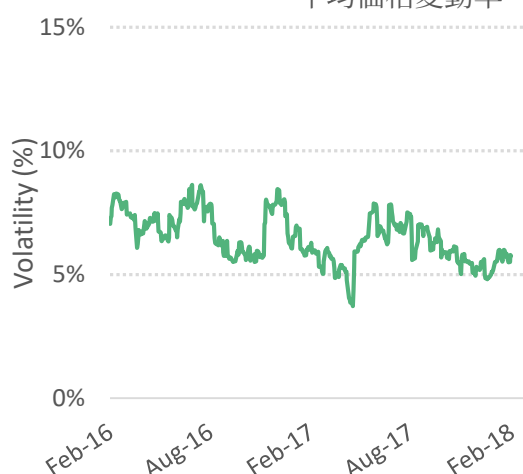
複合指標価格の月間平均値が下落したのは主にアラビカグループの指標価格が下がったことによるもので、アラビカグループ全ての指標価格が1月の水準を下回った。具体的にはコロンビアマイルドが1.6%下落、アザーマイルドは1.8%、ブラジルナチュラルは2.3%下がった。一方、ロブスタは1月に比べ0.7%上昇した。コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は、1月の平均値4.96米セント/LBから2月には5.22米セントに広がった。ニューヨークとロンドン先物市場の値差で計られる2月のアービトラージ平均値は10.9%縮小し米セント43.44/LBとなった。またICO複合指標価格の価格変動率は0.5%縮小し5.2%となった。

図3： ニューヨークとロンドン先物価格のアービトラージ



© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

図 4: ICO 複合指標価格の30日移動平均価格変動率



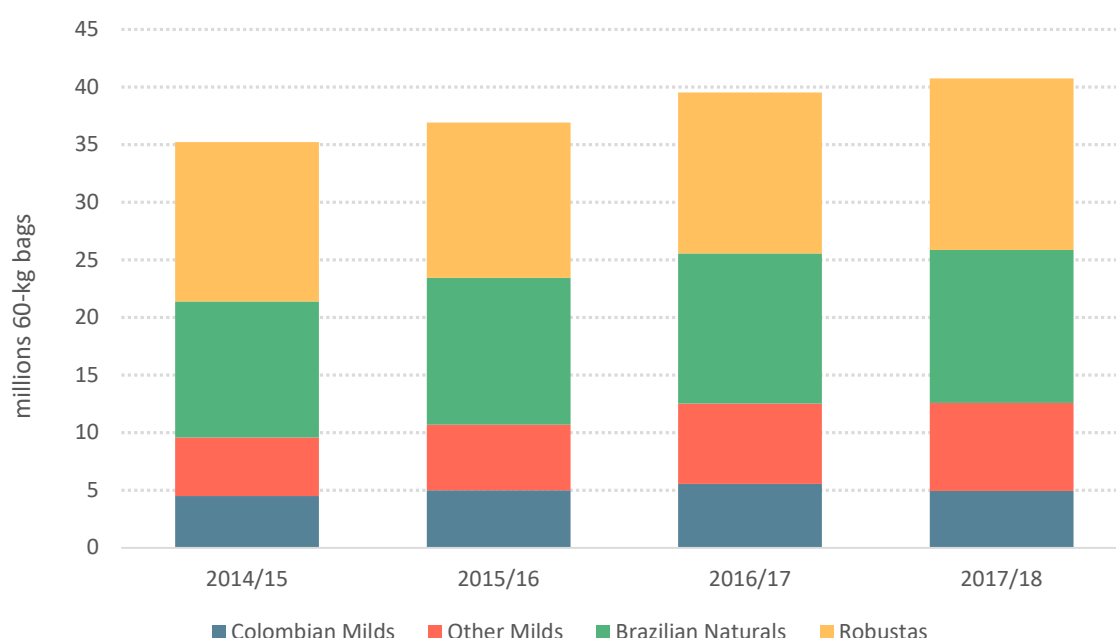
© 2018 International Coffee Organization (www.ico.org)

2018年1月のコーヒー総輸出量は、2017年1月に比べ20.7%増の11.01百万袋だった。2017年10月から2018年1月の累計輸出量は40.74百万袋となり、2016/17年度同期間の輸出量39.53百万袋に比べると3.1%増加した。2017/18年度最初の4か月間のアラビカコーヒーの輸出量は、前年同期に比べ1.3%多い25.87百万袋だったが、ロブスタコーヒーの輸出量は6.4%多い14.87百万袋だった。同期間のアザーマイルドグループとブラジルナチュラルグループの輸出量は夫々前年同期に比べ増加し、7.62百万袋（+9.3%）、13.31百万袋（+2.2%）となった。一方、コロンビアマイルドの同期間の輸出量は前年度に比べ10.9%減り4.94百万袋となったため相殺する形になった。

世界最大のコーヒー生産国、ブラジルの2017/18年度のコーヒー生産量は2016/17年度に比べ6.4%少ない51.5百万袋の予想である。これは主にアラビカコーヒー生産量が11.1%減り40百万袋になったことによるもので、ロブスタコーヒーの生産量は15%多い11.5百万袋の予想である。しかし、2018/19年度はこれまで天候に恵まれたことや、アラビカが表年になるため増産の見通しである。

ベトナムは収穫遅れのため、2018年1月の輸出量は前年同月のほぼ倍近い3.29百万袋となり、2017/18年度最初の4か月間の同国の累積輸出量は16.4%増の8.96百万袋になった。ベトナムはロブスタコーヒーの最大生産国で、世界のロブスタコーヒー生産量の約45%を占める。2017/18年度の同国の生産量見通しは28.5百万袋であり、これは2016/17年度に比べると11.6%多いが、2015/16年度に比べると0.8%少ない数字である。インドネシアとインドもロブスタコーヒー生産量は多く、夫々世界のロブスタ生産量の15%、6%を占めている。インドネシアの2017/18年度の生産量は6%減の10.8百万袋の見通しである。インドの2017/18年度の生産量見通しは暫定数値だが12.3%増の5.84百万袋である。同国の2017/18年度の最初の4か月間の輸出量は1.91百万袋であり、前年同期間に比べると11.9%増えている。

図 5: コーヒー総輸出量 (10月-1月)



ホンジュラスはアザーマイルドの最大生産国で、25.6%のシェアである。2017/18年度の生産量見通しは8.35百万袋で、2016/17年度比12%増えている。生産量の増加は2017/18年度の最初の4か月の輸出量の増加に表れており、2016/17年度同期間の輸出量の1.36百万袋が、1.53 百万袋に増えている。ペルー、メキシコ、グアテマラ3か国のアザーマイルドグループの生産量シェアは大まかに12%程度で、合わせると38%である。これら3か国の生産量は2016/17年度に比べ全て増産の見通しであり、ペルーが4.6百万袋、メキシコが4百万袋、グアテマラが3.8百万袋である。同様に2017/18年度の最初の4か月間の輸出量は前年同期に比べこれら全ての国で増えている。即ちペルーが0.6%増の1.89百万袋、メキシコが28.7%増の推定0.98百万袋、グアテマラが10.5%増の推定0.43百万袋である。

ブラジルナチュラルグループの生産量全体の79%はブラジルが占めるが、エチオピアがこのグループの2番目の生産国である。2017/18年度のエチオピアの生産量は、2016/17年度に比べ4.8%多い、7.65百万袋の見通しである。同国の2017年10月から2018年1月の輸出量は前年同期に比べ41.9%多い、1.11百万袋である。

コロンビアマイルドグループの輸出量減少の原因は、主に同グループの生産量の92%を占めるコロンビアの輸出量が減ったことによるものである。2017/18年度の最初の4か月のコロンビアの輸出量は4.56百万袋であり、前年度同期間に比べ11.4%減少している。コロンビアでは2017/18年度第1四半期の生産量が減少したが、これは過剰な降雨が原因だが、ミタカクロップは増える見通しである。2017/18年度通期の生産量は暫定数値ではあるが推定14百万袋で、2016/17年度比4.3%減となっている。

ニューヨーク先物市場の認証在庫は、13か月間増え続けた後、2018年2月に初めて、1月の2.24百万袋から、2.14百万袋に減少した。ロンドン先物市場の認証在庫は2017年11月の2.2百万袋をピークに減少し続けている。2018年2月には1.52百万袋となっており、これは2014年8月以来最も少ない数字である。

表 1: ICO 指標価格と先物価格(US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Feb-17	137.68	163.67	166.35	145.50	106.49	148.64	98.46
Mar-17	134.07	158.40	160.15	139.67	106.73	143.38	99.01
Apr-17	130.39	154.97	155.40	136.09	103.58	139.25	95.34
May-17	125.40	151.41	150.00	131.21	98.36	135.45	90.35
Jun-17	122.39	146.12	143.22	123.71	101.95	128.18	93.11
Jul-17	127.26	152.51	149.66	129.19	104.94	135.71	96.03
Aug-17	128.24	155.15	149.88	131.93	104.52	138.11	94.89
Sep-17	124.46	151.47	146.56	129.67	99.18	135.95	89.69
Oct-17	120.01	144.26	140.71	124.55	98.39	131.00	88.38
Nov-17	117.26	144.09	140.90	124.28	91.33	129.96	81.46
Dec-17	114.00	141.62	137.42	121.47	87.59	125.25	78.30
Jan-18	115.60	143.77	138.81	123.67	88.65	127.65	78.90
Feb-18	114.19	141.50	136.28	120.83	89.24	123.82	80.38
% change between Feb-18 and Jan-18							
	-1.2%	-1.6%	-1.8%	-2.3%	0.7%	-3.0%	1.9%
Volatility (%)							
Jan-18	5.7%	6.1%	6.5%	7.5%	5.1%	7.5%	6.0%
Feb-18	5.2%	5.5%	6.1%	6.5%	5.0%	6.6%	5.3%
Variation between Feb-18 and Jan-18							
	-0.5	-0.6	-0.4	-1.0	-0.1	-0.9	-0.7

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 2 価格差 (US cents/LB)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Feb-17	-2.68	18.17	57.18	20.85	59.86	39.01	50.18
Mar-17	-1.75	18.72	51.66	20.48	53.42	32.94	44.37
Apr-17	-0.43	18.88	51.40	19.31	51.82	32.51	43.92
May-17	1.41	20.20	53.05	18.79	51.64	32.85	45.09
Jun-17	2.89	22.41	44.17	19.51	41.28	21.76	35.07
Jul-17	2.85	23.32	47.57	20.47	44.72	24.25	39.68
Aug-17	5.27	23.22	50.63	17.95	45.36	27.41	43.22
Sep-17	4.91	21.80	52.29	16.89	47.38	30.49	46.26
Oct-17	3.55	19.70	45.86	16.16	42.32	26.16	42.62
Nov-17	3.19	19.81	52.76	16.62	49.57	32.95	48.50
Dec-17	4.20	20.15	54.03	15.95	49.83	33.88	46.95
Jan-18	4.96	20.10	55.12	15.14	50.16	35.02	48.75
Feb-18	5.22	20.67	52.26	15.45	47.04	31.59	43.44
% change between Feb-18 and Jan-18							
	5.2%	2.8%	-5.2%	2.0%	-6.2%	-9.8%	-10.9%

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界コーヒー需給バランス

Crop year commencing	2014	2015	2016	2017	% change 2016-17
PRODUCTION	149 077	152 108	157 694	158 930	0.8%
Arabica	86 281	88 433	102 174	98 843	-3.3%
Robusta	62 796	63 675	55 520	60 087	8.2%
Africa	15 964	16 338	17 123	17 929	4.7%
Asia & Oceania	45 974	49 566	44 968	47 642	5.9%
Mexico & Central America	17 189	17 238	20 466	21 924	7.1%
South America	69 951	68 966	75 137	71 435	-4.9%
CONSUMPTION	151 725	155 756	157 382	158 886	1.0%
Exporting countries	47 198	48 253	48 514	48 881	0.8%
Importing countries (Coffee Years)	104 527	107 503	108 868	110 005	1.0%
Africa	10 705	11 031	11 309	11 382	0.6%
Asia & Oceania	32 550	33 605	34 425	35 166	2.2%
Mexico & Central America	5 238	5 315	5 239	5 326	1.6%
Europe	50 914	51 626	51 693	51 933	0.5%
North America	27 359	28 931	29 380	29 664	1.0%
South America	24 960	25 248	25 335	25 415	0.3%
BALANCE	-2 648	-3 648	312	44	

In thousand 60-kg bags

表 4: 輸出国の総輸出量

	January 2017	January 2018	% change	October-January		
				2016	2017	% change
TOTAL	9 121	11 010	20.7%	39 526	40 738	3.1%
Arabicas	6 096	6 526	7.0%	25 543	25 866	1.3%
Colombian Milds	1 239	1 159	-6.5%	5 551	4 944	-10.9%
Other Milds	2 052	2 221	8.2%	6 969	7 617	9.3%
Brazilian Naturals	2 805	3 146	12.2%	13 023	13 305	2.2%
Robustas	3 025	4 484	48.2%	13 982	14 872	6.4%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫量

	Feb-17	Mar-17	Apr-17	May-17	Jun-17	Jul-17	Aug-17	Sep-17	Oct-17	Nov-17	Dec-17	Jan-18	Feb-18
New York	1.49	1.53	1.58	1.65	1.70	1.73	1.86	2.03	2.15	2.17	2.23	2.24	2.14
London	2.80	2.85	2.87	2.87	2.81	2.63	2.52	2.52	2.19	2.20	2.09	1.79	1.52

In million 60-kg bags

ートピックス（１）ー

米国コーヒー業界ではカリフォルニア州『第 65 条 (Proposition 65)』に関連するコーヒーのアクリルアミド問題が話題になっています。海外情報 452 号ではウォールストリートジャーナルの記事をお届けしましたが、この問題は新聞、テレビ等いろいろなメディアで取り上げられているようです。この問題に関し全米コーヒー協会は会員向けホームページに次のようなコメントを掲載しています。

全米コーヒー協会 2 月 6 日

話題になっている『第 65 条』: あなたが知っておくこと

コーヒーに発がん性があるという証拠は存在しない

最近、様々なメディアで長い間結論が出なかったカリフォルニア州の裁判が話題に上っていますが、全てのコーヒーカップやパッケージに『コーヒーには発癌物質が含まれている』という表示が義務づけられる結果になるかもしれません。メディアの見出しはコーヒー消費者を混乱させるばかりか不安にさえしています。

この訴訟はカリフォルニア州法の一般的に『第 65 条 (Prop 65)』と呼ばれるカリフォルニア州法に関わる裁判です。もしあなたがごく普通の商品、例えばスニーカー、人工クリスマスツリー、宝石類等を買ったことがあるなら、『第 65 条』に基づいて貼られた癌警告表示を見ることになるでしょう。コーヒーの場合、今行われている裁判は焙煎コーヒーに自然に含まれる僅かな量のアクリルアミドに起因するもので、アクリルアミドは第 65 条に掲載されている約 800 の科学物質の一つなのです。

しかし、コーヒーに癌警告表示が義務づけられるということは、世間で明らかに認められているコーヒーに関する事実と矛盾することを意味することになります。

最近国際保健機構 (WHO) が行った総合レビューによると、コーヒーには発がん性はなくある種の癌の予防を助ける効果さえあるだろうとしています。独立した科学研究所 (即ちコーヒー産業がスポンサーになっていないという意味) の研究によるとコーヒーを飲むと肝臓癌、子宮癌、黒色細胞腫、パーキンソン病、アルツハイマー、糖尿病、その他多くの疾病リスクを削減するとのこと。即ち極端に言うとコーヒーを飲む人は長生きするということです。

告発要旨は常に批判的なものです。しかしコーヒーは複雑な飲料であり (成分的にも文化的意味においても)、一面的要素のみで測ることは出来ません。一つの事を針小棒大に述べ立てることは国民の利益にはなりません。

最終結果は？

『65 条』訴訟でコーヒーが敗訴した場合にはコーヒーサプライチェーンの全てに多大な影響を与えることとなりますが、最も影響が大きいのは、米国政府がコーヒーは国民の健康的な食生活に役立つと言ったことに矛盾するため、消費者を混乱させることです。

全米コーヒー協会CEOの Bill Murray は次のように言っています。

『コーヒーは過去何度も健康な飲料だと言われてきた。米国政府の国民食生活指針に於いてもコーヒーは健康な食生活の一部になり得ると述べている。この裁判は、国民が健康について明確な情報を必要としている時に、消費者を単に混乱させ、『65 条』の癌警告表示そのものがごまかしであることを示す可能性がある』と。

以上

ー トピックス (2) ー

コロンビアコーヒー生産者連合 (FNC)

ボゴタ、2018 年 2 月 5 日 (FNC 広報)

2018 年 1 月までの過去 1 年間のコーヒー生産量は 2% の減産だった

2017 年中の悪天候や開花が遅れた影響うけ、2018 年 1 月までの 1 年間のコロンビアコーヒー生産量は、前年同期間 (2016 年 2 月～2017 年 1 月) が 14.4 百万袋だったのに比べ、14.1 百万袋となり 2% の減産となった。

2018 年 1 月の生産量は 1.13 百万袋となり、2017 年 1 月の生産量 1.28 百万袋に比べると 11% の減産だった。

今コーヒー年度 (2017 年 10 月～2018 年 1 月) の生産量は 5.1 百万袋となり、前年同期間の 5.6 百万袋に比べると 10% 減産した。

2018 年 1 月のコーヒー生産量 (60 kg 袋)

2018 年 1 月	1,131,000 (－11%)
2017 年 1 月	1,275,000

最近 1 年間のコーヒー生産量 (60 kg 袋)

2017 年 2 月～2018 年 1 月	14,050,000 (－2%)
2016 年 2 月～2017 年 1 月	14,371,000

2017/18 年度のコーヒー生産量 (60 kg 袋)

2017 年 10 月～2018 年 1 月	5,058,000 (－10%)
2016 年 10 月～2017 年 1 月	5,642,000

最近 12 カ月の輸出量は 1%増加した

最近 12 カ月のコーヒー輸出量は 13 百万袋となり、前年同期間の輸出量 12.9 百万袋に比べ 1%増えた。

2018 年 1 月のコロンビアコーヒーの輸出量は 1.13 百万袋となり、2017 年 1 月の輸出量 1.14 百万袋に比べ 1%減った。

2017/18 年度のこれまでの輸出量は 4.6 百万袋強だったが、2016 年 10 月～2017 年 1 月の輸出量 5.1 百万袋に比べると 10%減少した。

2018 年 1 月のコーヒー輸出量 (60 kg 袋)

2018 年 1 月	1,131,000 (－ 1 %)
2017 年 1 月	1,138,000

最近 12 カ月のコーヒー輸出量 (60 kg 袋)

2017 年 2 月～2018 年 1 月	12,976,000 (+ 1 %)
2016 年 2 月～2017 年 1 月	12,884,000

2017/18 年度のコーヒー輸出量 (60 kg 袋)

2017 年 10 月～2018 年 1 月	4,638,000 (－10%)
2016 年 10 月～2017 年 1 月	5,148,000

以上

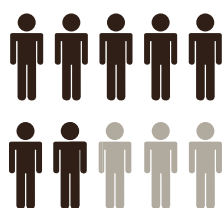
－トピックス (3)－

カナダコーヒー協会 (C C A) は同国のコーヒー需要動向調査を毎年行っていますが、最近ホームページに 2017 年需要動向概要がインフォグラフィック形式で掲示されました。興味深い内容でしたのでご参考にお送りします。



2017

調査にはスペシャルティコーヒーの中にエスプレッソベースでない新たなカテゴリーを設けました。フローズンブレンドコーヒー、水出しコーヒー、ガス入りコーヒーです。昨日これらのコーヒーを飲んだ人は8%です。



71%

昨日コーヒーを飲んだ年齢 18-79 才のカナダ人の%



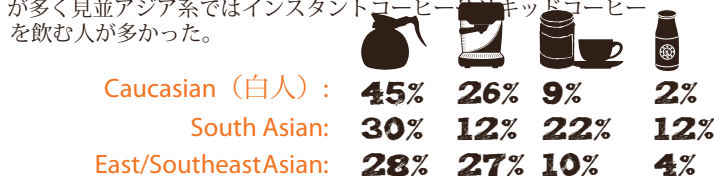
SINGLE-CUP BREWER PENETRATION STAGNATES

18-79 才のカナダ人の中で1杯取り抽出器を持っている人の%



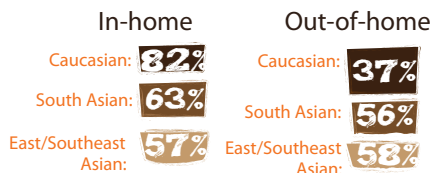
METHOD OF PREPARATION AMONG CANADIAN PAST-DAY COFFEE DRINKERS AGED 18-79

昨日コーヒーを飲んだ人の中では、白人ではドリップメーカーを使う人が多く見並アジア系ではインスタントコーヒーとキッドコーヒーを飲む人が多かった。



PLACE OF PREPARATION AMONG PAST-DAY CANADIAN COFFEE DRINKERS AGED 18-79

Caucasian(白人)では家庭内でコーヒーを作る人が多い



CANADIANS AGED 18-79 WHO DRANK COFFEE TYPES YESTERDAY

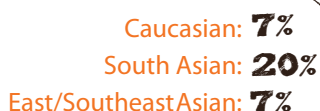
Total Coffee



Traditional Coffee



Non-Espresso-Based Beverages

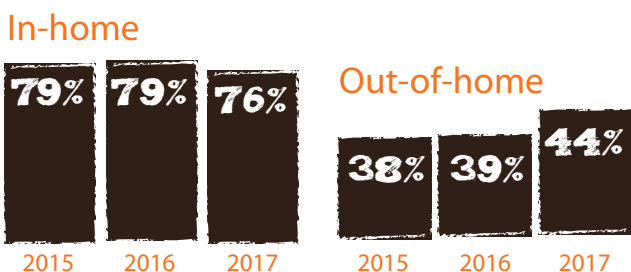


Espresso-Based Beverages



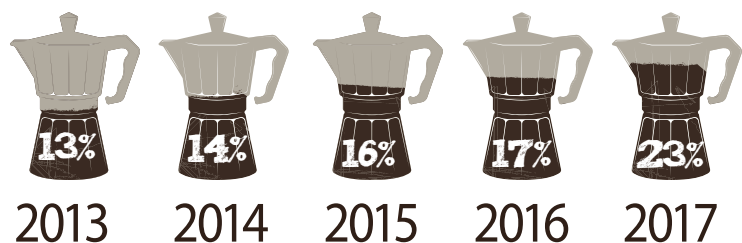
PLACE OF CONSUMPTION AMONG PAST-DAY CANADIAN COFFEE DRINKERS AGED 18-79

コーヒーの消費場所は屋外にシフトしている。

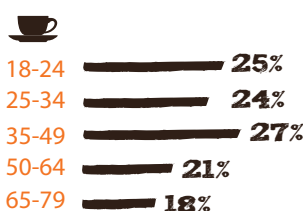


エスプレッソベースコーヒーの消費が伸びている。

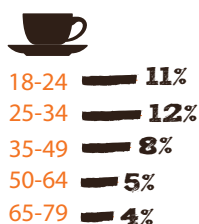
エスプレッソベースコーヒーを飲んだ人の%



昨日エスプレッソベースのコーヒーを飲んだ人の年代別%

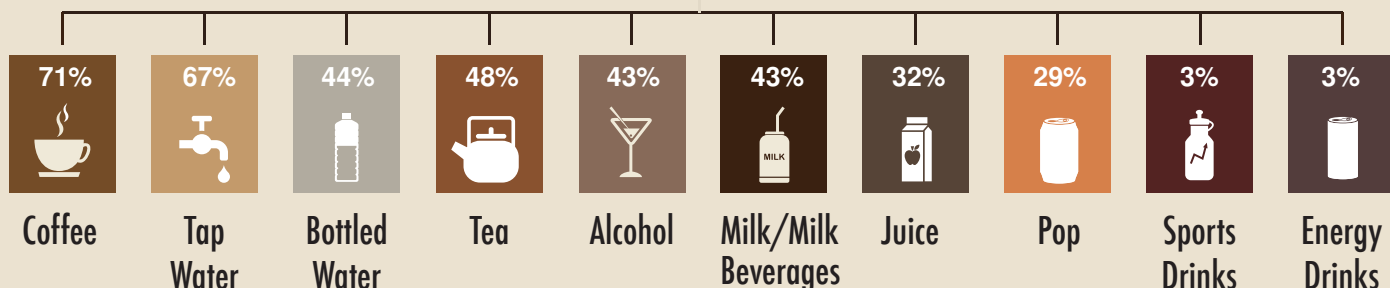


昨日非エスプレッソベースのコーヒーを飲んだ人の年代別%



コーヒーと水道水が最も一般的に飲まれている飲料である

カナダ人が昨日飲んだ飲料の%



DIG insights

Prepared by DIG Insights

Café Association of Canada and Coffee Association of Canada logos.